



JASDAQ

平成 22 年 9 月 1 日

各 位

会 社 名 株式会社多摩川ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 宇留嶋 健二
(J A S D A Q ・ コード 6 8 3 8)
問合せ先
役職・氏名 執行役員総務部長 小倉 俊一
電話 0 4 6 7 - 7 9 - 7 0 2 7

当社連結子会社によるバイオマス燃料の出荷開始に関するお知らせ

当社の連結子会社である PT. Indonesia Biomass Resources (インドネシア、ジャカルタ、代表者: Paulus L. Kesuma) (以下、「IBR 社」という。)は、この度、欧州向けにバイオマス燃料の出荷を開始いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 内容

当社は、平成 22 年 1 月 27 日付「組織変更および新規事業のお知らせ」にて公表いたしましたとおり、新規事業としてバイオマスエネルギー供給事業を開始しております。

本事業は、バイオマス資源を有効活用するため、バイオマス燃料のひとつであり、東南アジアを中心とするパーム産業から大量に発生するパームカーネルシェル (PKS) を日本や海外市場向けに販売するものであり、当社はこの市場の拡大に積極的に邁進して参りました。その具体的な取り組みとして、本年 2 月に本事業の核となるバイオエナジー・リソーシズ株式会社 (東京都中央区日本橋、代表者: 小林亨) (以下、「BER 社」という。)を設立、6 月にはインドネシア現地法人として IBR 社を設立し、本事業における収益拡大を目指し、活動して参りました。

こうした活動により、この度 IBR 社は、欧州向けに最初の出荷となる約 22,000 トンの PKS 輸出を完了いたしました。IBR 社は、今後も同様の出荷を予定しており、本事業は順調な滑り出しをしております。

当社では、この度の事業成果を第一弾とし、今後も BER 社および IBR 社を中心とした本事業の拡大を目指し、当社グループの収益拡大と企業価値向上を推し進めて参る所存でございます。

2. 今後の見通し等

当該子会社の本契約締結による売上は、当社グループの連結予想数値に反映済みであり、通期業績予想数値の変更はございません。

以 上